

# かながわ便り

Vol.6 4

MAY / JUNE 2004



## ナウンパー村小学校落成式に集まったポーオー族の女たち

(ミャンマー国シャン州ナウンパー村 撮影近田 4月2日)

### ミャンマー・シャン州での教育支援プロジェクト進む

ここナウンパー村はポーオー族 40 戸の小さな集落だ。隣のナウンチャー村との合同学校の建設が 4 月に完成し、雨漏りのひどい竹の小屋だった校舎が新しく頑丈な校舎になり、82 人の子ども達が小学校に通えるようになった。地球市民の会かながわ/TPAK の 9 件目のミャンマー・プロジェクトである。建設委員会には、両村の男性全員が参加し人足として実際の建設を行った。女性たちもひとり残らず手伝い、水汲みや砂運びをしたそうだ。落成式には、遠くの村からもたくさんの人が集まり、大きなお祭りとなった。

3年で9件の順調な事業進行はポーオーの村人のこの団結力に支えられている。(ち)



タイ・プロジェクト調査報告 vol.2	近田 真知子	1
ミャンマー研修報告	伊吾田 善行	3
インフォメーション		5
活動報告と予定、寄付報告		9
総会のお知らせ		11

2004 年最新版

## タイ国プロジェクト報告 Vol. 2

事務局長 近田真知子

1月の調査に続き、4月上旬の調査・調整のための出張から近田事務局長が16日帰国しました。ミャンマー・シャン州では、ナウンパー村新校舎の落成式とティハムスエ村の学校寮建設開始、タイ・コンケンでは、新規事業の“移動寺子屋”、チェンマイでは、メーター学校の卒業生の職業訓練校(ADS)入学式、WELCOME 招聘プログラムと各奨学金制度の見直しなどの調整を行いました。先号に引き続き、各プロジェクト地の報告をいたします。

### 鶏インフルエンザにおびえる！！

#### WSK(ワットサーキャオ) 孤児院

1,700 人収容のアユタヤ巨大孤児院 WSK に、タイ最大の食品流通会社 CP の支援を受けて、孤児院の敷地内に 6 万羽の養鶏場ができたのは、2002 年末でした。訪れた 1 月末は、おりしも鶏インフルエンザ(BIRD FLU)の真っ只中で、視察ためらわれましたが、空調の利いた鶏舎はコンピューター制御で外界から遮断されており、とりあえず、被害は無いとのことでした。(とは言われても、近づかないようにしましたが・・)

#### マック寮完成 ~男子寮の様子~

昨年の調査の際は、男子寮のすさみ方がひどく、年長者の年少者へのいじめや搾取、寮生同士の暴力事件や窃盗事件などが多発して寮内もごみが散らかり放題でした。このすさみは、本当に心配でした。

本年、訪れてみるとマクドナルド社の支援による年少者の寮 2 棟が完成し、4~10 歳の 65 人を収容。これにより、小さな子ども達が守られている様子で、本当にほっとしました。この寮には、小さな 2 段ベッドやマクドナルド風の遊具なども備えられ、子ども達は大変嬉しそうな様子、ここに的確な支援が行われていると実感しました。

又、女子寮に 20 年間勤めていたベテラン寮母のケサニー先生が敷地内に住み込ん

で子ども達に目を配り、秩序ある生活が始まっていました。頼れる大人がいることが、小さな子ども達にとって精神面にどんなに大きな安心感をもたらしていることでしょう。

不思議なことに、この隔離策により、年長者の生活にも秩序ができ、年長者の寮舎も昨年より清潔になり、落ち着いてきたように見受けられました。



人形を離さない男の子(WSK孤児院)

#### リーダーシップ ~女子寮の様子~

女子寮の敷地内には、40~60 人収容の寮が 11 棟建っています。これらの寮は、それぞれ独自に運営されており、リーダーシップを取る上級生と住み込みの先生(いるところといないところがある)の個性が反映されています。よいリーダーのいる寮は、きれいに片付き子ども達も礼儀正しく、そうでない寮は、室内は荒れ放題、子ども達は、挨拶も無くごろごろしており、病人

も出ています。リーダーシップの重要性と住環境の良し悪しによる、精神衛生に及ぼす影響を感じました。それぞれの寮のリーダーが毎週リーダー会議を開き、生活面の注意やトラブルを解決していくシステムがあり、運営は前向きに行われています。

## パンツ大作戦

女子寮でも男子寮でも、子ども達の財産はご飯を食べるお皿とスプーン、そのほかに少しの衣料とタオルのみです。注意してみると、下着を持っていない子が大半で、男子も女子も小さい子どもは、ほとんど下着を着けていません。これは健康上も悪く、女子の場合、自己の尊厳にもかかわってくる問題ではないでしょうか？女子寮で2年間寮母のボランティアをなさっていた中田裕子さんからの呼びかけで、子ども達の下着を支援するプロジェクトを開始しました。欄外の詳細をご覧ください。

## コンケン移動寺子屋教室

### “メッター(慈悲)プロジェクト”

移動寺子屋教室は TPAK と長い間友好関係にあるコンケン ACEC (杉浦所長) が行ってきた活動で、本年度は当会がお手伝いすることになりました。4月7日、活動開始！4WD のトラックに本、教材、楽

器、食料、お菓子などを満載して、山奥の村々を訪問。教育状況の悪い僻地の子ども達に、楽しく学び、本に接する機会を提供する、旅の芸人一座(?)です。まずは村のお坊さんへの食事の寄進から始め、子ども達を集めて本の読み聞かせやゲーム、歌など本当に楽しい教室です。集まった子ども達は、最初は緊張して固まっていますが、講師のニツタヤさんに乗せられて、いつの間にか大笑いし打ち解けています。終了後は、本の詰まった図書箱を村に置き、移動図書館となります。日本からも、子どもの教育に興味のあるボランティアの参加を募り、楽しい教室作りをしていきたいと思えます。興味のある方は、ぜひ事務局までお声をおかけください。



読み聞かせが始まると、子ども達は真鍮な表情で集まってくる(コンケン寺子屋メッター)

## パンツ大作戦

\* \* 皆さんの知恵をお貸し下さい \* \*

1700 人の子ども達が収容されているタイ国アユタヤのワットサーキャオ孤児院には、中古衣料の寄付はたくさん届きますが、下着の寄付は皆無です。そのため小さな子ども達は、下着無しで暮らしています。衛生的にも、尊厳的にも、子ども達に下着を着せてあげたいと、私たちは考えています。

支援を待っている子ども達：3～12 才の女の子 400 人

支援の方法

現物の支援：新品のランニングタイプのシャツ、パンツ

支援金のご寄金：物価の安いタイ国で購入して直接届けます

下着メーカーなどのご紹介：メーカー・販売店に勤めているお知り合いをご紹介ください。連絡や説明は TPAK が責任を持っています。



どんな情報でも結構ですので、事務局までお知らせ下さい！

Tel & Fax : 045-622-9661 / E-mail : port@tpak.org

## 自然、大地、人の調和とは？

事務局スタッフ 伊吾田 善行

人間本来の“営み”とは？ そんなことを考えさせられてしまう。

緑輝くミャンマー国シャン州山岳農村地域に、少数民族・ポーオ民族の暮らす村々がある。今春、現地調整員の平野氏のもとで一ヶ月間研修を受けた事務局スタッフからの報告です。

### 団結力が人々を動かす

初めてこの地域を訪れたのは 2001 年のこと。ポーオ民族は、類いまれな団結力と高い自立心により、僅かな収入(この地域の平均年収約 15,000 円～20,000 円)の中から村のため、子ども達のために少しずつ基金を供託し、水を引き、道を作り、学校を建て、僧中心の独自のコミュニティを形成している。

そこには、人と人が支え合い、共に働き、共に笑い、その大人たちの周りを遊び回る子ども達の姿がある。



2001年：初めて会ったポンタン村の母子

### 子どもは村の宝

ミャンマーで初めてプロジェクトを行ったのは、人口300人、全戸が農業を営むポンタン村だった。老朽化した竹製の小学校校舎の改修と給水タンク建設を、村人と協同で行うというものである。

初めて会ったポーオの人々は、口々に“子どもは村の宝です。子ども達により良い教育を受けてもらいたい”と胸を張って

言っていた。その思いがポーオの人々と私たちとを引き合わせた。

あれから2年・・・

2004年2月、私個人としては2年ぶりにポンタン村を再訪することができた。学校は清潔に保たれ、子ども達は元気に通っていた。そして、村人達はまるで親戚にでも再会したかのように、温かく私を迎えてくれた。2年前には考えられないことであった。当時、村人の多くは、外国人を見るのが初めてだったため、遠巻きに見ているだけで、その距離は見た目以上に遠いものを感じた。

しかし2001年以来、毎年スタディツアーでこの地を訪れ、村人と交流を続け、その間確実に村人との距離は縮まっていった。そして私は、ある母子に目が留まった。見覚えがある顔だった。それは2年前、写真に撮った母子であった。赤ちゃんだった子どもは2歳になり、見違えるほど大きくなっていて、不思議な気持ちだった。



2004年：母子との2年ぶりの再会。  
子どもは元気にすくすく成長していた。

遠く離れたミャンマーの、日本では一生紹介されることがないであろう、ポンタン村の母子を私は知っている。そして母子も私を知っている。出会わなければ、その人と思うことすらできない。しかし、一度出会えば、どんなに遠く離れていても、その人思うことができる。そしてこの子は何年後かには、村人と私たちが協同で建設したポンタン小学校に通うことになる。国際協力とは、その地に大きな影響を与えるものであり、その責任の大きさを痛感した。

#### 村人と協同で中学校建設

2003年、TPAKの学校建設プロジェクト2校目となる「ナンパウン中学校建設」は、村の周辺に中学校がなく、ティハムスエ村の80人の中学生は危険な幹線道路を2時間かけて通っていた。村人は自助努力で校舎の基礎と骨組みまでは建設したが、そこで村の基金は尽きてしまった。TPAKは子どもの安全、校舎建設により教員免許を持った先生が派遣されること、この地域の就学率の向上、学校運営も村の建設委員会が責任持って行うことなどを考慮し、村人と協同でその後の建設を進めることとなった。

#### 村人の意識に変化が！事業から運動へ

その後、校舎は完成し、80人の中学生、保護者、今まで遠くて中学校に通えなかった村の子ども達も、安心して自分の村の学校に通うことが出来るようになった。政府から先生が派遣されたことにより質の高い教

育を受けられるようになった。

そして、前にも増して団結力が強くなった村人たちは、「自分の村の子ども達だけでなく、ポーオ民族すべての子ども達に教育を受けてもらいたい」という気持ちが芽生え、学校寮を建設することで村に学校がない子ども達を多く受け入れたいという気持ちに発展した。これは私たちも予想しなかったとても喜ばしい波及効果であった。この地域の人々は大変貧しく、自分の食べるものや村のことで精一杯であるにも係わらず、「ポーオ民族の子どものために」と口を合わせる。このように中学校建設は村人の気持ちに大きな変化をもたらした。現地調整員の平野氏曰く「これは既にプロジェクトの域を超えている。ティハムスエ村は“運動”へと進み始めた。」

今後ともポーオの人々との細く長い協力を続けて行きたい。



ティハムスエ村の建設委員会メンバー。  
子ども達の明るい未来のために頑張るお父さん達。

## 地球市民の会かながわ募集中プロジェクト

～ミャンマー国シャン州のプロジェクトが皆さんの支援をお待ちしています～

### ムエタノン小学校建設 (目標額 40万円)

3年前まで戦災があった村。やっと平和が戻り、復興に向けて進み始めた村人達。子ども達の未来のために、老朽化した小学校校舎を改築し、将来の村のリーダーを育成したい。村人が自助努力で基礎を建設し、木材等を購入。その後の建設支援を募集しています。

### ナンパウン生徒寮備品支援 (目標額 20万円)

ティハムスエ村に建設する生徒寮のベッドやロッカーなど、子ども達の快適な生活のための備品支援を募集しています。 **どうかご協力よろしくお願いします。**

各支援金の振込先 一口1円より[郵便振替] 00250 4 61894 名義：地球市民の会かながわ

## インフォメーション

地球隊 2004、無事帰国しました！

4月4日地球隊2004がミャンマーから帰国しました。今回はナウンチャー・ナウンペー村学校落成式にも参加しました。

式はとても盛大で、遠くの村からもたくさんの方々が駆けつけてくれるなど、教育にかけるポーオ族の人達の熱い思いをひしひしと感じました。協力することが出来た喜びで私たちも大感激でした！

詳しい報告書は現在、作成中です。秋の定例会でも報告を予定しているので、ぜひご参加ください！

タイ東北部、移動寺子屋スタート！

東北貧農村部の子ども達が読書会や歌、巡回図書館など様々な方法で楽しみながら学びに接することで、社会常識や教養、知識を身に付ける“移動寺子屋メッター-プロジェクト”が「財団法人 ひろしま 祈りの石国際教育交流財団」の助成の決定を受け、開始することになりました。

当会友好団体 ACEC(在コンケン)との協働事業で、巡回図書館により子どもだけでなく村の大人まで書物に接する機会を得られるようになります。

ミャンマー東部シャン州

ティハムスエ村、学校寮建設開始！

財団法人国際開発救援財団の助成を受けて、2002年度に建設した中学校の敷地内に学校寮を建設することになりました。これまで中学校が近くに無いために中学教育の機会がなかった生徒達に教育の機会を提供することができるようになります。

Muu-Muu プロジェクトメンバー帰国！

今回で3回目となるタイ・ワットサーキャオ孤児院などの交流・調査プログラムを終

えてメンバー6名が元気に帰国しました！

現地ではハプニングあり、笑いあり、涙ありの毎日充実した日々の連続でした。また前回までは孤児院に宿泊していましたが、今回はホームステイもできたことで、よりタイの現状を知るとともに自分の足元も見つめ直すことが出来ました。

現在報告書を作成中です。今年は、現地の現状、活動内容、生徒のアンケート結果報告に加え、日本の中学校で取ったアンケート結果と比較するなど昨年以上に充実した報告書にしたいと思います。この報告書がより多くの方にMuu-Muuを知ってもらおうキッカケになれば幸いです。お楽しみに！



MuuMuu: 幼稚園でドラえものの紙芝居の衛生教育

自由が丘ボーダーマーケット

住みたい街人気ナンバーワンの自由が丘で毎月バザーを始めます。開催は10月までの毎月最終日曜日。場所は自由が丘から徒歩5分、会員金戸さん宅の駐車場です。見に来てください！詳しくは事務局まで。

春だ！バザーだ！全員集合！！

お待たせしました。春のバザーがスタートします。昨年は皆さまのご協力により、過去最高の売り上げとなりました。その資金がミャンマーとタイの学校建設などの就学支援に役立ちましたことに感謝いたします。今年も魅力的な商品とイベントが目白押しです。TPAKバザーは皆さまのご協力無しには成り立ちません。ご協力をお願いいたします。詳しくはp10を見てね！

## メーター里親奨学金終了と ADS奨学金貸しのお知らせ

1997年よりタイ国メーター村の高校生に対して「里親奨学金」を行ってきましたが、政府の奨学金制度開始などタイ国の状況も変化してきましたので、TPAKとしての里親奨学金の新規募集は2003年度で終了しました。

これに代わる就学支援として「ADS（職業訓練校）奨学金」の募集を開始します。ADSはアジア開発銀行が運営する職業訓練校です。1講座は6ヶ月間で授業料は無料ですが生活費は自費となります。「ADS（職業訓練校）奨学金」は生活費が確保できない子ども達の生活費を支援します。

引き続き皆様のご協力をお願い致します。

## 書き損じはがき、1422枚！

2003年度1年間に1309枚のご寄付をいただきました。これは総額58,656円、タイ山岳民族の学校の給食費にすると何と3900食分になります！

ご協力ありがとうございました。

書き損じはがきは一年中いつでも集めていますので、年賀状の書き損じなどがございましたらぜひ送ってください。よろしくお願いします。

あなたの学校、会社で「はがき収集BOX」を置いてみませんか！？

カラー写真入りのポスターと収集箱をお届けします。事務局までご連絡下さい。今までに6号が羽ばたいていきました！

皆さんのお知り合いで、このBOXを置いて下さるところをご紹介いただけませんか？

## 斉藤恵さんミャンマーに赴任！

ミャンマーの山岳部で5年間にわたって学校建設に尽力されたTPAK現地調整員の平野さんが5月に帰国されます。

TPAKの活動が一方的な援助ではなく、

村人達と検討を重ね、自立を前提とした事業になることができましたのは、平野さんの熱心な活動のおかげです。

3年間に学校4校、寮1棟、水供給3村の計10プロジェクトを実施することができました。平野さん、お疲れ様でした。

後任はTPAKボランティア出身の斉藤恵さんが担当されます。既に1月にミャンマーに入り、現在引き継ぎの真っ最中です。新しい視点で、ミャンマーの子ども達の教育環境支援に取り組んでくれることでしょう。斉藤さん、よろしくお祈りします。

## 4月度 理事会報告

4月11日横浜ランドマークタワー交流ラウンジにおいて理事会が行われました。

## 事務局報告

- ・助成金申請状況
- ・各プロジェクト状況
  - ・ミャンマー地球隊が無事終了
  - ・帰国後のミャンマー支援体制
  - ・Welomeメーターの子ども達」進捗

## 今月の議題

- ・メーター里親奨学金  
終了の件、承認されました
- ・メーターADS（職業訓練校）奨学金  
開始の件、承認されました
- ・自由が丘でのバザー定期開催  
開始の件、承認されました
- ・ミャンマー研修 報告書提出  
（伊吾田事務局員）
- ・プロジェクト名変更時の混乱防止  
各プロジェクトにID番号の割り当てを検討する
- ・各種支援募集の整理について  
各種支援依頼が乱立気味であるため、向こう1年間の重点領域を明確にして、めりはりを付けるよう検討する
- ・覚書作成の進捗  
退会規定を覚書または会則へ明記することも検討する。





チェンマイで環境問題に取り組む木村茂さんからはソンクラーン祭りの様子を、山極由紀子さんからはミャンマーの誕生日の過ごし方について、それぞれお便りをいただきました。各国それぞれ、心豊かに生活を楽しむ人々の様子が伝わってきます。

### 「みんなで楽しむ水掛け祭り」

木村 茂

ワン・マハー・ソンクラーン(タイの新年)を迎え、今日から3日間(4月13~15日)は休日です。このお祭りは、一般に「水掛け祭り」と呼ばれ、川の水を掛け合った始まりはチェンマイともいわれています。

我が家の周りでも、朝からざわめきと人々の興じる気配。まるで夏休みの海沿いの民宿のように、人々の歓声(または悲鳴)が聞こえてきます。

人々は車の荷台に水の入ったドラム缶やタイヤを載せ、沿道の人や車に水を掛けていきます。沿道の人もホースで水を引き応戦。外国人も気軽に水を使わせてくれ一緒に楽しめます。もちろん最初の挨拶は、頭から水をジャーッ! 郊外に出ると大きなトラックの荷台に10人以上の人を乗せて、水をまくのを目にします。沿道の人もこれが来た時ばかりは逃げ惑います。

水掛けは、こうした荒々しいものばかりではありません。お寺では、仏像に水を掛けて手を合わせ、香水の入った水を手や首にそっと掛け一年の祝福をする、などの美しい風景が見られます。

最終日には、一番人出が多い旧王城のお堀で水掛けをしました。学生時代、トラックにドラム缶を積んで参加した頃はまさに戦いでした。しかし、今、2歳の娘を抱いて歩いていると、突然水をかけられることはまずありません。立ち止まった時に、小さなコップで「新年おめでとう!」と老いも若きも祝福の水を掛けにきます。

バケツに水を汲み上の娘達の水掛け(水鉄砲使用)をフォローしつつ、暇なときは亀のように動く車のタイヤに水を補給。相手は「ありがとう!」と首から水をかけてくれます。何とも気分の良い瞬間です。ただし、タイヤに氷が入っていて悲鳴をあげることもあります。



質実ともにタイでダントツ最大の祭り。バケツ代10B(30円)で参加できととても楽しい! 来年はぜひ一緒にしませんか。

(原文より抜粋)

### 「誕生日は人のために何かを」

山極 由紀子

皆さんは誕生日をどうやって過ごしますか? きっと誰かからのプレゼントを心待ちにして過ごす日ではないでしょうか。

4月3日、地球隊に参加しヤンゴン・ミッタワーディ寺の孤児院を訪れました。そこでは、偶然、子どもたちに食事をふるまう会が行われていたのです。これは、ある13歳の男の子が健康に誕生日を迎えられたことに感謝し、彼の親戚一同が恵まれない孤児のためにと開いたものでした。ミャンマーでは、誕生日は、人のために何かをする日なのです。

その心に感動し、また、子どもの誕生日に親戚が大勢集まる習慣に、人と人が支えあう姿を見た気がしました。

## 地球市民の会かながわ国際交流プログラム

助成：横浜市国際交流協会（YOKE）横浜国際交流基金

山の子ども達に  
会いにきて下さい。

# Welcome！メーターの子ども達

地球市民の会かながわ/TPAKと10年間に亘り、協力関係を結んでいる、タイ国チェンマイ県メーター学校より、素朴で素直な山岳民族の子ども達6人と先生3人が来浜します。日タイ遊びの交流会をはじめ、たくさんの楽しく感動的なプログラムを行いますので、ぜひご参加下さい。印が一般参加プログラムです。(参加申込は事務局まで)

日程	スケジュール
4月29日(木)	成田着
30日(金)	小学校訪問 フレンドシップ交流会、給食試食 市内見学
5月1日(土)	市内見学 横浜中華街 大さん橋(ピクニック) 山下公園
2日(日)	ホームステイ家族との対面式 各家庭で素顔の交流
3日(月)	ホームステイ
4日(火)	ホームステイ
5月5日(水)	<p><b>TPAK 交流会「日タイ遊びの国際交流」</b>  <b>“山岳民族の子ども達と遊ぼう”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳民族の踊りを披露。</li> <li>・一緒に遊ぼう！ ゲームやダンスなど</li> <li>・タイのお菓子を食べよう！</li> <li>・山の学校の写真展も同時開催。</li> </ul> <p>場所：ランドマークタワー13F                      フォーラムよこはま交流ラウンジ                      時間：13:00～16:00 参加費：300円                      参加費は、子ども達の支援に生かされます。</p>  <p>一緒に遊ぼう！</p>
6日(木)	中学校訪問 交流会・授業参加・スポーツ交流 中区本牧下水処理場見学
7日(金)	鎌倉 大仏見学、由比ガ浜へ お見送り 成田空港国際線ターミナル 16:00 集合 成田発 18:25



自分たちで作った民族衣装を着る  
メーター校女子生徒たち

“Welcome！メーターの子ども達”  
**子ども達の滞在費支援に  
 ご協力ください！**

子ども達の滞在資金が足りません。  
 どうぞご協力をお願いします。

送り先：郵便振替 00250 - 4 - 61894  
 名 義：地球市民の会かながわ  
 (Welcome とご記入ください)

## 活動報告(2月21日～4月17日)

月日	活動内容
2,3,4月毎週(日)	「WELCOME メーターの子ども達」招聘プログラム企画運営会議 場所:事務局ほか
3月7日(日)	定例セミナー「深くさぐるアジア ミャンマー編」講師:ティンティントウンさん
3月7日(日)	地球隊2004 ミャンマーへの旅・オリエンテーション 場所:桜木町ランドマークタワー・フォーラムよこはま 会議室2
3月11日(日)	女性のためのリーダーシップ開発講座 場所:桜木町ランドマークタワー・フォーラムよこはま 講師:近田
3月28日(日)	自由が丘ポーターマーケット(国際協力市場) 毎月最終日曜開催 参加者:村山達 須藤美帆 飯山菜穂 出展協力:金戸家ご家族
3月29日(月) ～4月4日(日)	地球隊2004 ミャンマーへの旅・スタディーツアー 訪問先:ミャンマー国・ティハムスエ小中学校、ルンクン小学校、ナウンニャー村& ナウンペー村学校落成式 参加:14名
4月11日(土)	理事会 場所:桜木町フォーラムよこはま 参加:6名
4月11日(日)	「WELCOME メーターの子ども達」オリエンテーション 場所:桜木町・横浜市ボランティアセンター
4月17日(土)	清泉女子大学 NGO フェア インターグループ Muu-Muu による TPAK ボランティアインターン活動紹介
4月17日(土)	グレッグ外国語学院バザー 場所:自由が丘 参加者:飯山菜穂 勝呂真希 出展協力:金戸家ご家族
4月17日(土)	横浜国際協力まつり実行委員会(10月開催) 参加者:飯山亮平、青井茉莉子
毎月第3日曜日	TPAKバザー委員会 場所:TPAK事務局 時間:11:00～16:00 ご参加ください!

## 寄付のご報告(2月18日～4月17日)



協力品・文具、雑貨等 各種ご協力	高橋香奈(南区)、佐藤恵(東久留米市)、島田怜香(大和市) 前原キンチー(中区)、灰塚典子(中区)、高橋キヨ子(港北区)
書き損じはがき	海老原峰子(鎌倉市)、バックレイ麻知子(港区)、柿澤光邦(中区) 横澤千恵子(中区)、伊勢原小学校5年1組(伊勢原市)
ラーニングトゥギャザー	恩田朝子(三鷹市)
メーター奨学基金 Welcome メーター支援	矢島倫子(青葉区)、高瀬哲(磯子区)、加藤次男(墨田区)、 寺島三郎(中区)、柳信幸(相模原市)
ムエタノン小学校建設基金	川口敦子(町田市)
ナンパウン/ティハムスエ 学校寮建設支援	井上房子(緑区)、鈴木良子(港北区)、横山肇(港北区)、 柳信幸(相模原市)
ミャンマー孤児院寄付	地球隊2004参加者、アユス仏教国際協力ネットワーク
寄付金(地球こども基金)	田中次郎(杉並区)、児玉恭子(港北区)、間邊充代(磯子区)、 松田孝(佐賀県)、ティンティントウン(津久井郡)、村山達(川崎市) 山極由紀子(保土ヶ谷区)、金木理沙(南区)、柳信幸(相模原市)
助成金	財団法人 ひろしま・祈りの石国際教育交流財団、 財団法人 国際開発救援財団、財団法人 横浜市国際交流協会

かながわ便り編集スタッフ: 島田克彦、高須さおり、山口千恵美、山極由紀子、近田真知子  
 イラスト: 飯山菜穂、中山馨、山口千恵美、勝呂真希、近田真知子  
 印刷・発送: 北見正義、山極由紀子、中野路子、佐藤恵、土肥香織、勝呂真希

## 活動予定(4月18日～6月20日)

月 日	活 動 内 容
4月24日(土)	タイ舞踊グループ「マーライ」講演 場所：エポックなかはら JR 南武線 武蔵中原駅下車1分) 時間：13:00～17:00 バザーボランティア募集中！
4月25日(日)	ソクラン祭 (タイ人留学生協会主催) 場所：都立葛西工業高校(都営新宿線「一之江」駅下車 徒歩5分) 時間：9:30～16:00 バザーボランティア募集中！
4月29日(祝)	サンモール・インターナショナル・スクール・フェア 場所：中区山手町 外人墓地そば、元町公園前入 時間：10:00～16:00 バザーボランティア募集中！
4月29日(木) ～5月7日(金)	Welcome メーター *8ページを参照してくださいね！ 峯小学校・大鳥中学校訪問、市内見学、ホームステイ、国際交流など
5月2日(日)	総会 場所：桜木町ランドマークタワー・フォーラムよこはま 会議室2 時間：13:00～15:00
5月8日(土) 5月9日(日)	タイ・フードフェスティバル(タイ王国大使館主催) 場所：代々木公園イベント広場 JR:原宿/渋谷駅下車 小田急線: 代々木八幡駅下車 地下鉄千代田線:明治神宮前/代々木公園駅下車 時間：10:00～18:00 一年最大のイベント 全員集合!!!
5月15日(土) 5月16日(日)	あーすフェスタ 場所：地球市民かながわプラザ JR 根岸線:本郷台駅下車徒歩3分 時間：10:30～16:00 バザーボランティア募集中！
5月29日(土) 5月30日(日)	明治学院 戸塚祭り 場所：明治学院大学 戸塚校舎 JR 戸塚駅下車 バス10分、徒歩25分 時間：10:00～17:00 バザーボランティア募集中！
6月6日(日)	理事会 理事はご出席ください。
6月12日(土)	国際交流フェスタ in あじさい祭り 場所：開成町あじさい公園 JR 東海道線小田原駅経由小田急線開成町 下車バス15分 バザーボランティア募集中！

**新会員紹介** 海老原峰子(鎌倉市)、仁科歌子(世田谷区)、兼藤教子(世田谷区)  
城田彰夫(鶴見区) **ボランティア会員** 前原キンチー(中区)

**継続会員紹介** 加藤次男(墨田区)、原恵利子(伊勢原市)、小宮勇(大和市)、  
山極由紀子(保土ヶ谷区)、野中伸晃(港南区)

### Welcome メーター プログラム ボランティア

飯山亮平、児玉恭子、玄道優子、片山亜由、勝呂真希、金木理沙、佐藤恵、平田彩、大場美和、井上亜希子、小西良子、小宮勇、高階知巳、高橋一之、高橋香奈、堂谷祐介、中里由美、中里晴香、堀川有希、前田絵梨、松澤幹治、島田怜香、飯山菜穂、石川敦子、石川比呂子、伊藤信行、伊東陽子、牛島あすみ、内田恵、大畠康司、加藤和美、小菅瞳子、コン、榊原岳志、坂巻英一、鈴木久美子、早福泰子、田村、土肥香織、中田智久、中村真珠、並木幸子、西谷チャライボン、西久保アイリン、野沢郁枝、早坂祐一郎、林田創太、ピット、福島ワンディ、ホイ、星川玲子、前田絵梨、増井杏菜、村山達、森田夕紀、山本以津み、山極由紀子、渡辺ナタニー

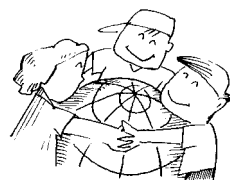
5月 2日  
(日)



# 総会のお知らせ

会員の方、ボランティア会員の方、全員集合！！  
会員でない方も、どうぞお越しください。

## 2004年度年次総会 & “Welcomeメーターの子ども達”



### 2004年度年次総会

地球市民の会かながわの2003年度の活動報告と決算、2004年度の活動予定と予算を発表します。1年間の活動を振り返り、今後の取り組みについて考えましょう。一年に一度の総会ですので、ぜひご参加ください。

### Welcome メーターの子ども達

タイ国チェンマイ県サムーン郡から9日間の招聘計画で横浜にやってきたメーター学校の山岳民族の子ども達6人と先生3人が、皆さんに会いにやってきます。日本の印象はどうでしょうか?どんなことを感じているのでしょうか?期待と緊張でいっぱいの子供達に、みなさんの温かい言葉をぜひかけてあげてください。

### 総会 会場

ランドマークタワー13F

セミナールーム2 会費 300円

13:00~16:00 懇親会有

~前回のトークセミナーの報告~「深くさぐるアジア」ミャンマー編

知られざるミャンマーにおける人身売買の現状、貧しい家族のために買われていく少女、貧困、レイプ、麻薬、人種差別、暴力…様々な問題が子ども達を取り巻く。この問題を解決するには教育しかない。と語るティンティン氏の言葉に強く共感しました。TPAK だからこそ出来る協力を今後も細く長く続けて行きたい。2部は、キンキーさんのTeaTime.ミャンマーの手作りお菓子をたくさんいただきました。おいしかった!

## 今月は会費納入月です

地球市民の会かながわは、あなたの会費によって運営されている非営利国際協力団体です。

正会員の方は、ご継続をお願いいたします。

未入会の方は、ご入会をぜひご検討ください。

年会費：正会員 ¥6,000 (毎年4月更新)

振込先：[郵便振替] 00250 - 4 - 61894 (会費とご記入下さい)

[銀行振込] 横浜銀行 新本牧支店 普通 1221533

名義：地球市民の会かながわ



地球市民の会かながわ便り

2004年5/6月号

[通巻64号]

<定価1000円>

発行：地球市民の会かながわ/TPAK

住所：〒231-0821

横浜市中区本牧原3-1-203

Tel&Fax: 045-622-9661

E-mail: port@tpak.org

URL: http://www.tpak.org